

聖霊降臨後第 19 主日特禱 (特定 22)

主よ、主の家族である教会を、絶えることのない恵みのうちにお守りください。どうか主の守りによってすべての災いを免れ、良い行いをもって熱心に主に仕え、み名の栄光を現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

旧約聖書 創世記 2 章 18-24 節

主なる神は言われた。

「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」

主なる神は、野のあらゆる獣、空のあらゆる鳥を土で形づくり、人のところへ持って来て、人がそれぞれをどう呼ぶか見ておられた。人が呼ぶと、それはすべて、生き物の名となった。人はあらゆる家畜、空の鳥、野のあらゆる獣に名を付けたが、自分に合う助ける者は見つけることができなかった。

主なる神はそこで、人を深い眠りに落とされた。人が眠り込むと、あばら骨の一部を抜き取り、その跡を肉でふさがれた。そして、人から抜き取ったあばら骨で女を造り上げられた。主なる神が彼女を人のところへ連れて来られると、人は言った。

「ついに、これこそわたしの骨の骨

わたしの肉の肉。これをこそ、女（イシャー）と呼ぼう

まさに、男（イシュ）から取られたものだから。」

こういうわけで、男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる。

詩 編 第 8 編

- 1 わたしたちの主、神よ、み名はあまねく世界に輝き // その栄光は天にそびえる
- 2 幼子と乳飲み子は賛美を歌う // 刃向かう者、逆らう者を鎮めるため、あなたは敵に備えて砦を築かれた
- 3 あなたの指の業の大空を仰ぎ // あなたがちりばめた月と星を眺めて思う
- 4 人とは何者か、なぜ、これにみ心を留められるのか // なぜ、人の子を顧みられるのか
- 5 あなたは人を神に近いものにし // 栄えと誉れの冠を授け
- 6 み手の業を治めさせ // すべてをその足もとに置かれた
- 7 羊も牛も、野の獣もことごとく // 空の鳥、潮路を泳ぐ魚の群れも
- 8 わたしたちの主、神よ // み名はあまねく世界に輝く

使徒書 ヘブライ人への手紙 2 章 [1-8] , 9-18 節

「だから、わたしたちは聞いたことにいっそう注意を払わねばなりません。そうでないと、押し流されてしまいます。もし、天使たちを通して語られた言葉が効力を発し、すべての違犯や不従順が当然な罰を受けたとするならば、ましてわたしたちは、これほど大きな救いに対してむとんちゃくでいて、どうして罰を逃れることができますよう。この救いは、主が最初に語られ、それを聞いた人々によってわたしたちに確かなものとして示され、

更に神もまた、しるし、不思議な業、さまざまな奇跡、聖霊の賜物を御心に従って分け与えて、証ししておられます。

神は、わたしたちが語っている来るべき世界を、天使たちに従わせるようなことはなさらなかったのです。ある個所で、次のようにはっきり証しされています。

「あなたが心に留められる人間とは、何者なのか。

また、あなたが顧みられる人の子とは、何者なのか。

あなたは彼を天使たちよりも、わずかの間、低い者とされたが、栄光と榮譽の冠を受け、すべてのものを、その足の下に従わせられました。」

「すべてのものを彼に従わせられた」と言われている以上、この方に従わないものは何も残っていないはずです。しかし、わたしたちはいまだに、すべてのものがこの方に従っている様子を見ていません。]

ただ、「天使たちよりも、わずかの間、低い者とされた」イエスが、死の苦しみのゆえに、「栄光と榮譽の冠を受けられた」のを見ています。神の恵みによって、すべての人のために死んでくださったのです。

というのは、多くの子らを栄光へと導くために、彼らの救いの創始者を数々の苦しみを通して完全な者とされたのは、万物の目標であり源である方に、ふさわしいことであったからです。事実、人を聖なる者となさる方も、聖なる者とされる人たちも、すべて一つの源から出ているのです。それで、イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥としないで、「わたしは、あなたの名をわたしの兄弟たちに知らせ、集会の中であなたを賛美します」と言い、また、「わたしは神に信頼します」と言い、更にまた、「ここに、わたしと、神がわたしに与えてくださった子らがいます」と言われます。ところで、子らは血と肉を備えているので、イエスもまた同様に、これらのものを備えられました。それは、死をつかさどる者、つまり悪魔を御自分の死によって滅ぼし、死の恐怖のために一生涯、奴隷の状態にあった者たちを解放なさるためでした。確かに、イエスは天使たちを助けず、アブラハムの子孫を助けられるのです。それで、イエスは、神の御前において憐れみ深い、忠実な大祭司となって、民の罪を償うために、すべての点で兄弟たちと同じようにならねばならなかったのです。事実、御自身、試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たちを助けることがおできになるのです。

福音書 マルコによる福音書 10章2-9節

ファリサイ派の人々が近寄って、「夫が妻を離縁することは、律法に適っているでしょうか」と尋ねた。イエスを試そうとしたのである。イエスは、「モーセはあなたたちに何と命じたか」と問い返された。彼らは、「モーセは、離縁状を書いて離縁することを許しました」と言った。イエスは言われた。「あなたたちの心が頑固なので、このような掟をモーセは書いたのだ。しかし、天地創造の初めから、神は人を男と女とにお造りになった。それゆえ、人は父母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。だから二人はもはや別々ではなく、一体である。従って、神が結び合わせてくださったものを、人は離してはならない。」